

住所の表わし方が変わります

町など 西の部 東の清滝 実施は来年4月を目標に

全国各都市ですでに実施されているように、日光市でも住居や事業所などの地番を新しい表わし方にするようになりました。

これは住居表示制度といって町内をいくつかのブロック(街区)に分けて新しい番号をつけ、すっきりした住所の表わし方しようというものです。

新しい住居の表示とは、簡単にいえば土地に地番があるように、住居(店舗なども含みます)に一定の方式により番号をつけて市民の皆さん方の利便に供しようというものです。

実施する区域は東町、西町、清滝地区の一部で、来年の四月実施を目標に準備をすすめていますので該当する地区の皆さんのご協力をおねがいます。

なぜ住居表示を実施するか

では、今までの番地では、なぜ不便でわかりにくかったのかということになります。地番や番地のつけられた経過などをしらべてみますとつぎのようになっています。住居の表示については、明治四年の戸籍法に、「区内ノ順序ヲ明ニスルニハ番号ヲ用ユベシ故ニ毎区ニ官私ノ区別ナク臣民一般番号ヲ定メ其

住所ヲ記スルニツイテ何番屋舗ト記シ」と住居には住居だけの番号がつけられるよう明示されており、住居番号と地番は全然別のものであったのです。その後、明治三十一年に戸籍法が改正になり「戸籍ハ地番号順ニ従ヒ」となって、地番の数字をかりて番地といふ表わすことになったのです。

一 番地という飛び番号の家であった、などという例があります。日光市についてみても五四番

から一四九番までと一八七番から三一九番までは東和町で、そのあいだにある一五〇番から一八六番までは相生町であるといったことが少なくありません。他に同じ番地を三町内の人が使っている例もあります。これでは番地をたずねて行くより、局とか米屋さんといった目標の右へ〇軒目とたずねたほうが早いといったぐあいです。また、教えるほうでも、よほど町内の事情に詳しい人でないかぎり、番地を聞かれても完全に教えることはできません。このような状態では物を配達するにも、緊急のときにも不便なことです。

一定の方式で番号をつけ

わかりやすく表示

そこで今度は、地番にこだわらず町界というものをハッキリして、町内をいくつかのブロック(街区)にわけ、さらに家屋に番号をつけ、その町内に行けばその町内のどの街区はどこにあるか図で示します。そしてどの家屋にも家屋番号札を出しておくといったようになります。市民の皆さんが、よく親せきから住居表示がこのようになりましたと通知を受けたり、他の市や町をおとすとき、〇〇町〇番といった標示を見受けられることがあると思いますが、

これなどは新しい住居表示が行なわれたもので、わかりやすく住居が表示されています。やがて日光の市街地にもこのような標示や、あなたの家屋に新しい住居番号札が掲げられることとなります。お互いにじぶんの住んでいる所が、だれにでもわかりやすくなればどんなにか便利になることでしょうか。これからすすめる市の住居表示にご協力ください。

なお、新しい住居番号のつけ方は次号でお知らせします。

番地で住居をたずねても

わからない状態

ところが地番というものはやっかいなもので、一筆の土地の大きさや形がちがうため、一筆の土地にたくさん家(同じ番地の家)があったり、反対に二筆の土地に一軒しかないというときもあります。また、どこまでが何番の土地であるか、見わ

けることがむずかしいうえに分割も自由で枝番もつけられるところから飛番、欠番ができ、隣りから隣りへと整然としていない所があります。よく家をたずねて五〇番地という家が見つかったから、つぎは五一番地だろうとたずねて行くと、二、五〇

から一四九番までと一八七番から三一九番までは東和町で、そのあいだにある一五〇番から一八六番までは相生町であるといったことが少なくありません。他に同じ番地を三町内の人が使っている例もあります。これでは番地をたずねて行くより、局とか米屋さんといった目標の右へ〇軒目とたずねたほうが早いといったぐあいです。また、教えるほうでも、よほど町内の事情に詳しい人でないかぎり、番地を聞かれても完全に教えることはできません。このような状態では物を配達するにも、緊急のときにも不便なことです。

これからすすめる市の住居表示にご協力ください。なお、新しい住居番号のつけ方は次号でお知らせします。

9月10日(日)は市民運動会

～秋の1日を所野公園で～

17自治会が参加して9月10日(日曜日)に所野公園陸上競技場で市民運動会が行なわれます。参加しない自治会の皆さんもぜひおいでになって、秋の1日を家族ぐるみでごゆっくりおすごしください。

競技種目……

- 四本足競走
- たるころがし
- バスケットボール
- ラッキーボーイ
- スプーンレース
- したく競走
- 障害物競走
- 短距離競走
- ボール運び
- むかでリレー
- 球入れ
- 綱引き
- 年齢別リレー
- 競歩